

# 赤平市議会議員 手づくりの議会広報紙

## 第3回定例会 (9月5日開会～9月16日閉会)

- 専決処分の承認を求めることについての審議 (令和4年度一般会計補正予算)
- 令和4年一般会計補正予算の審議
- 令和4年度介護保険特別会計補正予算の審議
- 令和3年度各会計決算認定の審議
- 条例の改正の審議
- 一般質問 7名  
ほか

審議	
議案	17件
報告	2件
意見書案	3件

(結果)

原案どおり可決・承認・認定・同意  
意見書案1件否決



定例会の様子

## 決算審査特別委員会 (9月9日～9月14日)

令和3年度各会計決算認定について、決算審査特別委員会が行われました。御家瀬委員長、東副委員長がそれぞれ選出された後、4日間でおよそ6時間にわたり活発な質疑応答が行われました。

最終日には、市長総括質問が行われました。民主クラブ、日本共産党、新政クラブ、一刻者倶楽部の順番でそれぞれの代表者による総括質問が行われました。

採決では、すべての会計決算が全会一致で認定となりました。

※総括質問の要旨は5ページに掲載されています。



市長総括質問の様子



委員会質疑の様子

民主クラブ



伊藤新一

福祉灯油の実施について

【質問】

原油価格高騰に伴う灯油価格の高止まりにより生活に影響を及ぼす低所得者等に対し、経済的負担を軽減するため、福祉灯油の実施を行う考えはないか伺う。

【答弁】

令和4年度の福祉灯油について、現在社会福祉課において令和3年度と比較し支給対象者と支給額の拡大も含めた実施に向け作業を進めている。支給対象者、支給額の拡大については、これまでには住民税非課税世帯のうち、70歳以上の高齢者世帯、重度心身障害者世帯、ひとり親世帯に限定していたが、今般、それを拡充し、すべての住民税非課税世帯とすることや、これまでの10,000円から、さらに上乗せすべく検討している。

福祉灯油の制度化について

【質問】過去の質問の答弁において福祉灯油の制度化について前向きな答弁がある

ったと思われるが、その後どの様に検討されているのか伺う。

【答弁】

灯油価格の高止まりや、石油製品の高騰状態が続いたとすれば、経済の原理とした年金や賃金も物価に見合った措置がされてくるものと考えられ、福祉灯油を制度化するにはこのことを踏まえた上で考える必要がある。今年度については難しいものと考えているが、引き続き研究していく。

乗合タクシー実証運行について

【質問】

6月から実証運行がスタートしているが、実証運行の現状と利用拡大に向けた方策について伺う。

【答弁】

今年度は6月から来年3月までの長期間の実証運行利用対象範囲を拡大した中で行っている。5月から事前の利用者登録の受付を行い、現在のところ前回よりは伸びている状況である。本市にとつて近い将来、重要な役割を果たすモビリティの一つになると思っていることから、乗合タクシーの制度を知らない方を知っていたたく事が重要であるため、今後も引き続き周知PRに努めてまいりたい。

日本共産党



木村 恵

個人情報保護について

【質問】

自衛隊への名簿提供について、昨年度は情報提供を行ったのか。行っていた場合、赤平市個人情報保護条例の除外規定、第9条の1号「本人の同意があるとき」について、どのような解釈で適用したのか。該当する個人が外部提供を望まない場合、その意思を確認する必要があると考えるが、どのように行うのか伺う。

【答弁】

審査会を開催し、「自衛官等募集事務に利用すること」を目的とする個人情報の提供については「妥当である」と答申をいただいた。併せて「個人情報の提供を希望しない人を除く必要がある」との意見もいただいた。このことから、昨年度は情報提供を行った。また、情報提供を希望しない市民への対応については、除外申請の周知を広報及びホームページで実施しているが、気づかない方もいると考えられる

ることから、より対象者に周知が図られるよう周知方法を検討していく。

旧3小学校活用検討会議について

【質問】

協議内容はどうなっているか。また、「公共施設等総合管理計画」「個別計画」の中で、旧3小学校の活用方針、及び実施時期はどのように記載されているか伺う。

【答弁】

改修費等ケースごとのコストを算出したが想定を上回り、将来を見据えた判断をしなければならぬことから慎重な意見が多く出た。今後は民間活用案などを中心に協議していく。統合後の現小学校については、他施設の機能移転先としての活用方策を提案しているが、実現にあたっては近隣住民を含めた議論のもと具体策を検討するとなっている。実施時期については2021年から2030年の10年間で前期・後期に分けており、前期に活用方策の協議・検討、後期に有効活用となっている。計画通りに進んでいるが、茂尻・豊里・文京の三つの地域をはじめとする市民の皆様と大きな財政負担を伴う議論をすることになると、かなりの時間を要するものと考えている。

新政クラブ



安藤 繁

児童福祉について

【質問】

全国的に保育所での事故が増えているが、事故防止対策と職員体制、賃金の実態について伺う。

【答弁】

危機意識を共有し事故防止対策について協議し改善している。職員体制は国の基準を満たしており、賃金も市の職員給与条例により支給している。

太陽光発電施設設置規制条例の制定について

【質問】

昨年6月の定例会以降の取り組み内容と研究の成果を伺う。

【答弁】

近隣住民の切実な声を聴き、他の自治体の条例も入手した。情報収集等に時間を要したが、条例制定に向けて検討してまいりたい。

建設事業について

【質問】

4月発注予定の工事が、一月程遅れたのは技術職員不足も原因ではないのか、また、工事資材費等が高騰しているが、施工期間内の請負代金の額等の変更についての考えを伺う。

【答弁】

雪解けの遅れやあんしん住宅建設助成事業の事務作業量の増により遅れたが、現在は順調である。技術職員不足との認識はない。施工期間内に工事資材等の価格変動が生じた場合は、契約書に基づき請負代金の額の変更等適切に対応する。

建設事業の確保・事業量UPについて

【質問】建設事業の確保・事業量のUPについての考えを伺う。

【答弁】

公営住宅や橋梁・都市公園等の長寿命化計画事業や生活基盤に直結した事業は有効な財源を活用し継続的確保に努め、地域からの要望による事業も必要性を勘案し計画的に実施する。

公営住宅について

【質問】

公住の空き家の草刈りや除雪対策と空き家が生じたことにより移転を希望する高齢者、身体に障害のある

世帯に移転費の助成と家賃等の軽減を検討しては如何か伺う。

【答弁】

職員が巡回し草刈りや冬の避難通路の確保、雪庇対策など安全確保に努めている。移転については、団地集約等市の都合による移転以外は、移転費助成等の対象としておりません。ご理解頂きたい。

民主クラブ



東成一

農業経営者の高齢化、後継者不足について

【質問】

市内の農業従事者は、高齢化が進み後継者不足により、離農者が増加傾向である。Uターンして実家の後継者として就農する場合の支援の拡充と新規就農者に対する支援についての考えを伺う。

【答弁】

当市の農業は、67戸の農業者が営んでおり、平均年齢は約67歳と高齢化が進んでいる。当市としては、新規就農者について、近隣の市な

どへの聞き取りや、札幌市で行われた新規就農フェアの視察に行き情報を得ている。現在当市では、赤平市農業後継者、担い手サポート事業により、支援を行っているが、拡充については、農業者からの聞き取りを行い精査していきたい。また、新規就農者の支援については、赤平市としてどの様な受け入れ体制が必要かを進め考えていく。

燃料、資材等の高騰に伴う農業者に対する支援について

【質問】

昨年の米価下落、燃料、資材の値上がりにより、農業経営者は苦境に立たされている。赤平市として経営が圧迫している農業者に対する支援についての考えを伺う。

【答弁】

肥料の価格上昇率は高く、国より高騰分の7割の支援策が示されたが、当市としても肥料費高騰分の残り3割を支援する補正予算を計上したところである。燃料、資材等の高騰に対する支援については、国内の動向を注視していく。

スマート農業について

【質問】

スマート農業の導入は、労働力不足の解消、農作業

の負担軽減に繋がると考えるが、市内の農地事情に見合った機械、システムの導入には、視察、研究が必要である。研究会等への支援、機械等を購入するための支援についての考えを伺う。

【答弁】

当市の農業は、高齢化が進み、離農による農家戸数の減少や経営規模の拡大により、労働力不足が懸念されている中、スマート農業は、一つの手段として認識している。赤平市スマート農業研究会の中で、今後、市内や先進地での研修に参加するなど、農業者にとって必要な機械、コストなど研究を重ねていきたい。

新政クラブ



北市 勲

市長就任一ヶ月の総括と公約の進捗について

【質問】

赤平しごと・ひと・まち総合戦略の推進に当たり、地域の振興や活性化及び人口減少のために民間活力を導く市政運営であるならば、持ち家住宅建設事業助成廃

止・赤平観光協会補助金廃止・大型店閉店後の出店策などの事業は、民間活力を活かし地域の振興や活性化及び人口減少対策になると思うが考えを伺う。

【答弁】

総合戦略の推進には民間の活力は不可欠であり「地元産業の強みを生かした雇用の確保と地域産業の振興」は、コロナ禍の中、産業を維持し守るために中小企業支援に終始してきた。雇用の確保については合同企業説明会を実施し、商店街の賑わいには「スーパープレミアム付き商品券」や「助け合い商品券」を発行してきた。就任以来、民間活力を導く市政運営についてはコロナ禍もあり十分な実施が出来たとは言えない。持ち家住宅建設事業助成の廃止後も「あんしん住宅助成事業」の助成率を拡充し助成限度額も増額してきた。赤平観光協会補助金については各年度事業内容に応じて予算化しており、今後も観光振興のため事業の実施に補助する。大型店閉店後の代替案の出店は実現できなかったが移動販売車が運行されることになった。

【質問】

公約の一つである「事業の決定過程の透明化」については財政運営に影響を及



ぼす大型事業がなかったか否かを伺う。

【答弁】 事前に情報を提供する大型事業で財政運営に影響を及ぼす大型事業がなかったことで政策決定プロセスの透明化は取り組んでいない。

【再質問】 大型事業はなかったとの答弁であるが、水道事業の抜本的な経営効率化に必要な検討をするとは表明している。事業規模の見直しは財政運営に影響を及ぼすので財政運営の方向性の決定を意図的に先送りしていると思うが考えを伺う。

【答弁】 水道施設の浄水場、取水場、および管路などの老朽化が進んでいることは認識している。「資産管理」として健全度を把握、検証し更新時の見直しにより今後の事業の経営戦略に反映させた。水道事業の法改正に反映させた。水道事業の方向性は基盤強化に向け法改正により今後の経営戦略に反映させた。水道事業の方向性は基盤強化に向けての法改正により事業者に対する責務が規定され、それらを含め今後の運営方法を検討する。

### 新政クラブ



御家瀬 遵

旧3小学校の利活用について

#### 【質問】

3小学校活用検討会議が立ち上がり、検討が進められている。現在の物価上昇や原材料の高騰による影響を考えると3小学校すべてを公共施設として活用することは、当市の財政的に非常に難しい。将来負担やコスト面を考えた民間活用による売却等に向けて進めるべきで、民間事業者の意見を聞く「サウンディング」などの手法を取り入れるよう検討しては如何か伺う。

#### 【答弁】

現在、旧3小学校活用検討会議の中で、利活用について協議し、市民の皆様にご意見を提示できるように物価や原材料の高騰により、改修や維持管理に際するコストを概算で算出したところ、3小学校全てを公共施設として活用することは、案を中心協議していく方

向であり、議会や地域、市民の皆様にご提示できるように精査が必要です。また地域の状況に応じ、「サウンディング」についても参考にさせていただきます。

### 一刻者倶楽部



鈴木 明広

根室本線維持のための費用便益分析実施について

#### 【質問】

国交省の有識者検討会がローカル線の在り方について方針をまとめた。見直しの目安を、輸送密度1000人未満などとした。国は「廃線ありきではない」と言うが、全国的なローカル赤字路線の本格的な見直しに踏み出したと警戒する。専門家によれば、仮に鉄道が赤字であったとしても、社会に対する経済的価値が赤字額を上回る場合には、「存続」と判断されるケースも多い。当市は経済的価値をばき出し、費用便益分析を実施すべきであると思うが考えを伺う。

#### 【答弁】

赤平市は「根室本線対策協議会」の中で地域一体となつて「アクションプラン」を進めているが、効果には限界がある。まず当市の社会的便益性を独自調査した上で、数値化し分析し科学的根拠に基づき、そして専門家や学識経験者から相談、助言を求める体制を構築することが大切であると思う。限られた職員体制の中では厳しい状況だが、提案を含め研究していく。

赤平市は「根室本線対策協議会」の中で地域一体となつて「アクションプラン」を進めているが、効果には限界がある。まず当市の社会的便益性を独自調査した上で、数値化し分析し科学的根拠に基づき、そして専門家や学識経験者から相談、助言を求める体制を構築することが大切であると思う。限られた職員体制の中では厳しい状況だが、提案を含め研究していく。

子供の感染症対策について

#### 【質問】

国内で8月に入ってから通常では流行しない時期に、子供の感染症が爆発的に流行しているとの報道が矢継ぎ早にされている。今後道内でもRSウイルス、手足口病等の感染拡大が懸念されるが、当市ではどのような対策をとるかを伺う。

【答弁】 手足口病やRSウイルス等の感染症は乳児期から感染を何度も繰り返すことで、体の中で免疫がついてくる。したがって小学生頃には罹りにくいのであるが、コロナ禍で行動制限や接触の減少、マスクの着用やアルコール消毒などで、手足口病やRSウイルス等の流行が抑制された。その影響で免疫が低下して

いる乳幼児や一度も感染していない乳幼児も多数いると考えられる。今後は、保健だより等を通じて手洗いの徹底など感染防止や経過観察、医療機関受診のポイント等を伝える。

### 議員定数は現状維持の10名

市議会では来年の市議会議員選挙に向け、議員定数について全員協議会を開催し検討してまいりました。

全員協議会では、各議員から「多様な市民の意見を反映させるためには現状を維持すべき」「行政のチェック機能を維持するためには現状を維持すべき」など意見が出され、最終的に市民のための議会活動を展開するために「現状維持である10名とすべき」との結論に至りました。

今後も議会改革の推進と議員の資質向上に努めるとともに、情勢の変化を注視し、議員定数の見直しを引き続き検討してまいります。

全員協議会 会長 竹村 恵一

毎年テレビ報道で式典の様子を視聴してきましたが、現地を訪れるのは初めてでした。式典終了後に会場周辺の広島平和記念館、原爆ドーム等を見学しました。式典前には、被爆者の様々な

○式典に参加した報告について

(右が安藤議員、左が東議員)

原子爆弾は原爆ドーム(旧広島県産業奨励館)から南東約160メートル、高度約600メートルの位置で炸裂しました。建物内にいた人は全て即死し、建物は爆風と熱線により、大破し全焼しました。(広島市ホームページ)



広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式への議員派遣(東議員と安藤議員を派遣)

安藤 繁 議員  
爆心地のそばを流れる川は滔々と水が流れ、緑豊かな整備されており、原爆投下直後に多くの被爆者が水を求めて川に入り、亡くなった事や大地の下に今もなお昔の街の残骸が埋まっている事が信じられない程でした。  
原爆ドームの無残な姿や爆風により点灯装置の笠石がずれてしまった本保橋を見学しました。広島平和記念資料館では、全身やけどを負った人、目の玉が飛び出た人、川面に浮かぶおびただしい死体等の展示写真・絵画や痛ましく無残な悲しい資料の数々に触れるいかに原爆が残忍なものなのかを深く知ることができました。

体験談が放映されており、その中でも、「自分の娘が朝、弁当を持って玄関を出ていったのが最後見た姿だった。娘を探したが弁当箱しか見つからなかった。」という話を聞いて、子供の未来が突然奪われてしまう無念さに胸が熱くなる思いでした。  
今回の式典へ参加して核兵器使用による戦争の悲惨さを改めて実感し、恒久平和の大切さを学ぶことができました。

### 議会報告と意見交換会を開催します

日程	時間	会場
11月15日(火)	18:00~	市役所3階議事堂
11月17日(木)	18:00~	東公民館1階講堂

※皆様のご参加をお待ちしております。

核兵器の使用はよそ事ではなく、当市を含めて全世界が核兵器廃絶に向けて取り組むべき重要課題である事を痛感致しました。

### 令和4年度 決算審査特別委員会 市長総括質問事項

委員氏名(党派名)	件名
安藤 繁 (新政クラブ)	ふるさと納税の有効活用について
〃	合同墓受付数について
〃	あかびら市立病院職員研修について
若山 武信 (民主クラブ)	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金に係る効果について
木村 恵 (日本共産党)	人口減少対策の各施策について
鈴木 明広 (一刻者倶楽部)	民間住宅助成事業における移住定住策の効果検証等について
〃	スーパープレミアム付き商品券発行助成事業の効果検証について
〃	実質公債費比率と留保財源について

## 議会の動き

- 6 / 2 1 令和4年第2回定例会（～24日まで）
- 6 / 2 1 議会運営委員会
- 6 / 2 2 行政常任委員会
- ・赤平市議会議員及び赤平市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について
- ・赤平市過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について
- ・赤平市国民健康保険条例の一部改正について
- ・赤平市介護保険条例の一部改正について
- ・エルム高原4施設の指定管理に係る方針について
- 7 / 2 6 全国市議会議長会第162回地方行政委員会（東京）
- 8 / 3 1 議会運営委員会

- 9 / 5 令和4年第3回定例会（～16日まで）
- 9 / 5 議会運営委員会
- 9 / 5 決算審査特別委員会（正副委員長互選）
- 9 / 8 行政常任委員会
- ・赤平市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について
- ・赤平市税条例等の一部改正について
- ・8月16日大雨によるパークゴルフ場の被害について
- 9 / 9 決算審査特別委員会（～14日まで）
- ・令和3年度赤平市一般会計、国民健康保険・後期高齢者医療・用地取得・介護サービス事業・介護保険特別会計、下水道事業・水道事業・病院事業会計決算について
- 10 / 4 北海道市議会議長会道央支部協議（書面会議）
- 10 / 2 5 北海道市議会議長会正副会長会議・役員会（砂川市）

◎第16回赤平市赤い羽根共同募金チャリティーに議員10名が参加しました。  
ZARDの「負けないで」を熱唱しました♪



### ◎意見書の送付について

次の2件の意見書を可決し、送付しました。

- 国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書
- 政府の「難民」認定を国際水準まで高め、支援強化を求める意見書

送付先：衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 総務大臣 財務大臣 国土交通大臣  
内閣官房長官 国土強靱化担当大臣 内閣府特命担当大臣（防災）

※詳しい議決結果及び賛否の公表については、赤平市議会ホームページに掲載しています。

### 編集後記

9月5日から第3回定例会が開催され、7人の議員が一般質問を行いました。

物価高騰対策、コロナ対策、福祉対策、地域公共交通の整備など、幅広く活発な質問をし、市長からも真摯な答弁がありました。また、決算審査特別委員会において、令和3年度会計決算の審査が行われ、16日に閉会しました。

今回の議会の傍聴には、赤平小学校の児童が2日間に渡り、議会の傍聴にお越しいただきました。一般質問の様子を見学されました。開かれた議会という意味からも大変意義のある事と感じました。

市民の皆様にも少しでも議会の様子を知って頂くためにも、多くの方々に傍聴に来て頂ければと思います。

今回も議会の内容を簡略にまとめた「かわら版」をお送りしますので、議会について関心を寄せて頂きたいと願っております。

かわら版編集委員会

委員長

鈴木 明広  
安藤 繁  
東 成一  
木村 恵  
五十嵐 美知

東 成一

※このかわら版のお問い合わせは、赤平市議会かわら版編集委員会 TEL32-1858 までお願いいたします。